

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安本部

海洋情報監理課長 土橋 一夫

098-867-0118 (内線 2510)



第十一管区海上保安本部

令和4年9月12日

OIST への感謝状贈呈式を開催

～県民の安全・安心につながる取組みの推進を目指す～

海上保安庁では、毎年9月12日の水路記念日にあたり、多年にわたり当庁業務に貢献した全国の個人・団体に対し、海上保安庁長官から感謝状を贈呈しております。

今年も、県内では唯一、「沖縄科学技術大学院大学 (OIST)」に対し贈呈されるため、十一管区本部にて贈呈式を開催します。

これを機に、あらためて、十一管区本部と OIST の連携により、沖縄県民の安全・安心につながる取組みの推進を目指します。

- 1 日時 令和4年9月15日(木) 13:30～14:30
- 2 場所 第十一管区海上保安本部 5F会議室
- 3 内容
 - ① 感謝状贈呈式
 - ② 記念写真撮影
 - ③ 第十一管区海上保安本部長 挨拶
 - ④ 沖縄科学技術大学院大学学長 挨拶
 - ⑤ 業務説明等
 - ・感謝状贈呈の背景及び海洋情報業務の概要(業務協力含む)
 - ・OISTの業務概要
 - ⑥ 質疑応答

※取材希望の方は、別紙「取材申請書」により、9月14日(水)17:00までにご返信ください。

●功績

沖縄科学技術大学院大学(OIST)は、平成24年3月から十一管区本部との業務協力関係を開始し、OIST 所有の観測機器の供与や観測データを提供するなどして、長年にわたり海上保安庁海洋情報業務[※]に貢献してきました。

それにより、沖縄県民の安心・安全につながる取り組みとして、令和2年には慶良間列島周辺海域の潮流シミュレーションを開発し、海上保安庁海洋情報部が運営する海洋状況把握システム(海しる)で、潮流予測情報の提供を開始したほか、昨年は、十一管本部主催の「海図150年記念講演会」で、OISTが軽石の漂流シミュレーション結果を公表しております。

※ 海洋情報業務とは、海図作製のほか、領海・EEZなどの権益確保に向けた海底地形等の調査、さらには海洋の環境問題や地震などの災害への対応など、海洋に関する様々な調査を実施するとともに、他機関、民間等から提供される情報も取り入れて、船舶の安全運航や漁業、防災、海洋開発といった利用シーンに応えるために、海洋に関する情報提供を行う業務

●水路記念日について

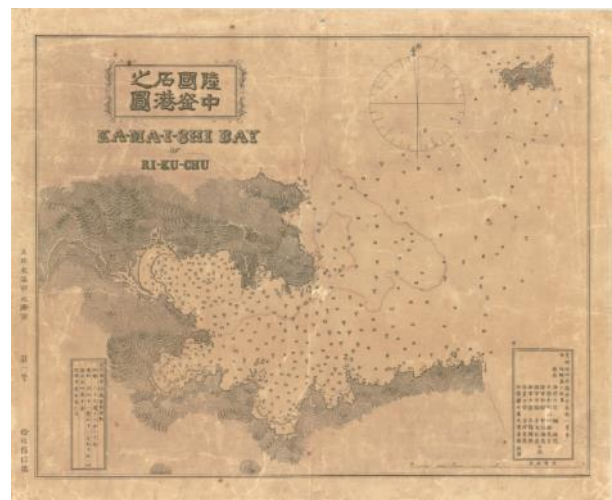
明治4年(1871年)9月12日、測量から海図作製までを一貫して行う水路業務(現在の海洋情報業務の基礎)を使命とする、兵部省海軍部水路局が設置されました。

これを記念して、9月12日が水路記念日となり、今年で151周年を迎えます。

水路局が設置された当時、勝海舟らとともに、西洋の進んだ航海術や測量術を学んだ、初代水路部長となる柳樽悦(やなぎ ならよし)が中心となり、日本独自による近代的な海図作製を開始し、明治5年には、国内第一号海図「陸中國釜石港之圖」を刊行しました。



柳樽悦【初代水路部長】

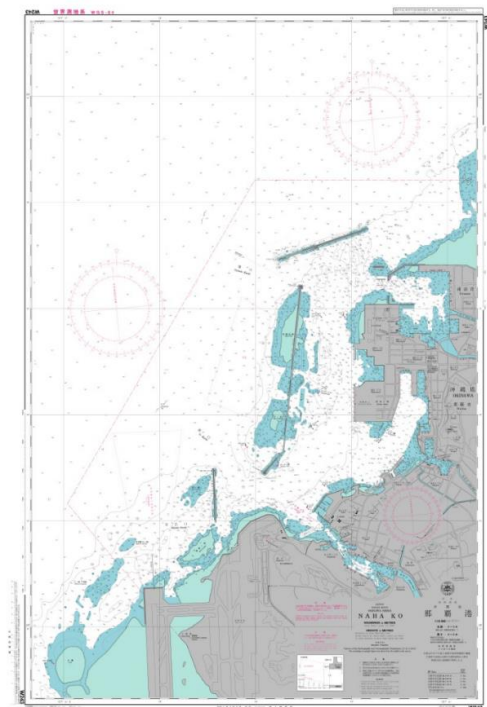


海図第一号「陸中國釜石港之圖」

●海図

海図は、水深、暗礁・沈船・魚礁といった障害物、灯台をはじめとする航路標識など、船舶の安全かつ効率的な運航に必要な情報が掲載された、船舶交通に特化した主題図であり、海上保安庁が刊行しています。

ちなみに、法令により、一部の船舶を除く全ての船舶に、海図の備え置きが義務付けられております。



海図 W243 「那覇港」